

能を知る愉しみ  
《明之會 能楽体験講座》

# 『鶴亀』を謡ってみよう

- 日時  
H29.6月1日(木)、7月6日(木)、8月3日(木)、9月7日(木)、10月12日(木)  
全5回・各午後1時～2時30分
- 場所  
眞謡会田端教室稽古場 北区田端3-21-5(駒込駅徒歩7分)
- 定員  
10名
- お話と指導  
観世流能楽師 加藤 眞悟
- 参加費  
20,000円(原則として5回参加)  
教材費3,950円<観世流初心本(上)五番綴>別途
- 持参するもの  
白足袋(扇は当方で用意いたしますが、お持ちの方はご持参ください。)



加藤眞悟(かとうしんご)…昭和33年生。故二世梅若万三郎及び三世梅若万三郎師に師事。観世流準職分。日本能楽会会員(重要無形文化財能楽の保持者)。日本大学文理学部哲学科卒。在学中に現梅若万三郎師に師事し、昭和62年より梅若研究会例会にてシテを勤める。同年能楽養成会教程終了。各地にて能の普及に努め、海外公演にも多数参加。平成25年新作能『将門』(梅若万三郎監修、小林保治作)、平成26年復曲能「真田」・28年復曲能「伏木曾我」(共に梅若万三郎監修)の初演のシテを勤める。平成11年より毎年「明之會」を開催する。「眞謡会」を主宰して愛好者に謡仕舞の指導をしている。

## 講座内容

お 話 (30分)		謡の実習 (30分)	型の実習 (30分)
第1回 6/1(木)	○能の歴史 ○能舞台について ○能の分類(神男女狂鬼)と夢幻能の説明	『鶴亀』1 「それ青陽の～ 夥し」マデ	『基本の型』1 カマエとハコビ サシ込ミ、ヒラキ 角取り
第2回 7/6(木)	○謡の音階 ○謡のリズム(ノリの違い) ○台詞について	『鶴亀』2 上歌「庭の砂は～ ありがたき」マデ	『基本の型』2 左右、打込 扇の持ち方のいろいろ サシワケ
第3回 8/3(木)	○役柄と舞について ○序・破・急と位について	『鶴亀』3 ワキ「如何に奏聞～ 舞ひ給ふ」マデ	仕舞『鶴亀』1 前半部分
第4回 9/7(木)	○「鶴亀」のビデオ鑑賞 ○型の説明と鑑賞のポイント	『鶴亀』4 「月宮殿の～ 最後マデ	仕舞『鶴亀』2 後半部分
第5回 10/12(木)	○「鶴亀」の着付けと装束の説明 ※この回は先に謡と仕舞の部をします。	『鶴亀』5 全体	仕舞『鶴亀』3 全体  謡と仕舞の発表

舞台上がってみませんか! ご希望の方は発表会(11月3日(祝・金))にご参加いただけます。

■お申し込み・お問い合わせ(お名前・連絡先・テキストの有無を添えてお申し込みください。)

加藤 眞悟 TEL/FAX.045-481-8704 公式サイト <http://katoshingo.com>

※日程は公演などの都合により変更する場合がございます。